

【鈍川】 木地

④7 檜原山の子持杉

檜原山頂上付近には多くの巨木が残されている。中でも子持杉といわれる巨大な杉の木は、檜原山のシンボル。初代の子持杉は、幹の直径10m余りあり樹齢1000年とも言われていたが、枯れてしまい、今は2代目の子持杉（直径約6・65m）が威容を誇っている。こちらは樹齢400年と言われている。



2代目子持杉



初代子持杉は枯れている。

④8 千足峠 せんあしとうげ

かつては桜の名所で、昭和20年代ごろまでは見事なヤマザクラが咲き誇っていた。全国的にも、吉野や嵐山などに次ぐほどのものだったという。

昭和11年4月21日に歌人の吉井勇がこの地を訪れ「大君の櫻咲きけりかしこみて千足峠の花をおるがむ」と詠んだ。頂上にその歌碑がある。昭和16年に国指定の名勝に指定され、今でも国土地理院の地図には「千足のサクラ」と記されている。南北朝時代に南朝方の悲劇の天皇である長慶天皇がこの地に潜幸、この峠を越えたと伝えられており、それを偲んで桜を植えたとも言われている。昭和30年代にすべての桜が枯れてしまった。現在、峠付近に数本のソメイヨシノとヤマザクラがあるだけになっている。峠に行くには神子之森側からの道がよく整備されている。



峠には江戸時代に建てられた奈良原神社の大鳥居がある。



峠にある吉井勇の歌碑

④9 門岡養魚場

森林館から約3kmほど上流に、ニジマスやアマゴを養殖している門岡養魚場がある。

釣堀もしていて、釣った魚をその場で炭火焼にしてもらえる。大自然の中で食べる魚は格別だ。

いくらでも釣れるので釣りすぎに注意。



〒794-0121
愛媛県今治市玉川町
鈍川木地
電話0898-55-2317